

平成28年9月議会 一般質問 中里泰則

登壇日：平成28年9月7日(水) 14時～

## 1. 学校の環境整備

### (1) 現状認識と今後の考え方

#### 【質問】

長崎市行財政改革プランによって、環境整備班が廃止され1年6カ月が経過した。学校現場では、限られた予算の中での環境整備となり大きく後退するのではないかと心配の声が出されている。現時点で、委託される以前と変わらない内容の環境整備が行われているのか答弁を求める。あわせて、今後の環境整備の実施に対する考えについて見解を示してもらいたい。

#### 【答弁】

環境整備の実施にあたっては、環境整備業務計画書を各学校から提出してもらい、これに基づき教育委員会が実施状況の把握と進捗管理を行っている。業務内容としては、これまで対応が困難だった急斜面や高所の作業が可能となり、行事が集中する時期であっても学校の希望する日程での対応が可能となった。また、木工、塗装等については、学校が計画的に発注できるように予算配当をしている。以上のことから、学校の環境整備は一定できていると考えている。

## (2) 誰もが使いやすい水道設備の設置

### 【質問】

昨年の6月議会の一般質問の中でユニバーサルデザインの考えに基づいて学校設備を設置していく考えはないのかとの質問をした際、「誰もが利用しやすいように、ユニバーサルデザインの観点を踏まえた整備を行う必要があると認識している」との回答をもらった。これ以降、学校の水道設備について、誰もが使いやすいように配慮して、どんな設備を整備したのか、また、これから整備しようと考えているのか、答弁を求める。

### 【答弁】

学校施設は、児童、生徒が一日の大半を過ごす場であるとともに、地域の防災拠点の役割を担っていることから、誰もが利用しやすいとの観点を踏まえた整備が必要と認識している。学校の水道設備は、校舎の新築や改築時において、トイレにセンサーやレバー式の蛇口を設置している。今後は、衛生的で節水につながるセンサー式蛇口を設置していきたい。教室前の共同手洗い場については、力が弱くても蛇口の開閉ができるよう、一部の蛇口をレバー式に取り換えていく。

## 2. 防災行政について

### (1) 地震及び津波発生時の避難行動要支援者への取り組み

### 【質問】

大震災や津波が発生したとき、自分の力だけで避難することが困難な独り暮らしの高齢者などの身体及び生命の安全を守るための避難支援の計画についてと、その計画を実行に移す仕組みが整っているか答弁を求める。

### 【答弁】

①地域の中の「共助」は、住民だけでなく地域の事業者やそこに勤務する人も地域の一員であり、日頃からの繋がりや連携が必要だと考えている。地域によって条件は様々で事情も違うので、一様の仕組みを作るのは困難だが、地域の特性を把握して、地域を構成する人が共に助け合う仕組みづくりを提案していきたい。

②予定されている津波災害警戒区域の指定状況と周辺の地形を勘察し、避難場所が確保できない場合には、一定の基準を満たす施設を津波避難ビルとして指定したいと考えている。併せて、津波が発生したときは早急に避難行動を取るように市民の防災意識の向上に取り組む。

## 3. 公園行政について

### (1) 公園パトロールの充実の考え方

### 【質問】

過去に他都市において公園の遊具の構造的な欠陥や老朽化、腐食な

どによって遊具からの落下、骨折、手足の指の切断などの事故が発生した。長崎市は、行政改革を実施する中でみどりの課の公園パトロール班による年1回の定期点検の実施と必要な措置を行うとしているが、現時点において、市内全ての公園の年1回の定期点検が実施できる業務の進捗状況にあるのかと、現行のパトロールの回数及び点検内容で公園の遊具などの安全を十分に確保できると考えているのかについて答弁を求める。

【答弁】

公園の維持管理、安全確保は職員が実施しており、旧長崎市内は専任のパトロール班が点検を行っている。2016年4月から8月末までの実績は、対象公園724箇所のうち441箇所実施している。国の指針に基づく定期点検を年1回以上確実に実施できる体制に努める。公園台帳システムと公園毎の点検票を活用してパトロールの効率化を図る。